



横浜市立城郷小学校
明治 33 年 6 月創立

学校だより

めざす子ども像

令和 4 年 11 月 25 日

12 月号



ともに学び、よりよい生き方を見つけ出す しろさとっ子

◆学校だよりはホームページにも掲載されています。右の QR コードからもご覧になれます◆

創り上げる楽しさ

校長 三瓶 淳

いつものように正門で子どもたちの下校を見守っていると、私のところへすっと寄ってくる子が、「クラスの子が、私のことを『体が柔らかいね。』って言うてるんですよ。」と話しかけてくれたので「何か習っているのかな？」と尋ねました。「はい、新体操を習っています。でも、その中に入ると私なんて（体は）固い方なんですよ〜。」と。何回かやり取りをしていると他にも習い事をしていることも分かりましたが、その子自身は今習っていることが、将来、自分にとってどのように活かせるか分かって習い事を続けていると感じました。私も含め、親は我が子に幼少期からいろいろな経験をさせて、才能や感性を伸ばしたいと願っていますが、それを受け取る側の子どもの思いや気付き、成長のスピードは実に様々だと思います。私たち大人が、人生の線路を敷くのではなく、子ども自身が自分の路を選択できる力を身に付けさせ、その成長を見守っていきたいものです。



さて、3年ぶりに保護者参観型の音楽会を実施するために、運動会後より着々と準備を進めて参りましたが、音楽会直前に風邪症状による欠席者が急増したため中止とさせていただきます。保護者の皆様にライブで聴いていただけなかったことは、本当に残念で仕方ありません。しかし、子どもたちにとっては、保護者の前で合唱や合奏を発表するという目標に向かって、学年が一体化する経験ができたことは、間違いなく大きな財産になったと思います。特に、歌うことや大勢の前で表現することが苦手な子どもたちにとっては、自分の壁を幾つも乗り越えられた行事になったのではないのでしょうか。

また、今年も横浜アリーナで行われた「ふるさと港北ふれあいまつり」に 6 年有志ソーラン隊 (41 名) が出演させていただきました。運動会前に仮希望者を募った時は 20 名弱でした。しかし、運動会で「昨年度の 6 年生を超える演技をする！」という目標に向けて 6 年生が一致団結し、踊り切った達成感があったため、より大きなステージに挑戦する自信となり、結果として倍以上の参加者数になったと思います。その他の学年も遠足や校外学習を通して、仲間と一緒に、同じもの（目標）に向かって取り組むよさを子どもたちは、確実に実感し始めています。



実は私たちも、子どもたちが目標に向かっていく姿や達成した時の満面の笑顔から、教職員としてのやりがいや元気をもらっています。引き続き、行事などをコロナ禍と同じような形に戻すだけでなく、個をより活かした集団活動のねらいや在り方などを検討し、新しい形を作りあげていきたいと思っています。

早いもので師走を迎えます。この 1 年を振り返ってみても、コロナ禍の影響から完全に抜け出すことはできませんでした。人と人との距離間や繋がりが制限されたため、会話や SNS 上で気付かぬうちに相手を傷つけているケースが増えています。今月末からの人権週間を通して、自分のよさを認めることやみんな違ってよいことを受け入れる人権感覚を高めていきたいと思っています。